

平成 25 年 1 月 31 日

各 位

会社名：古河電気工業株式会社

(コード：5801 東証第 1 部)

代表者名：取締役社長 柴田 光義

問い合わせ先：経営企画室 I R・広報ユニット長

鈴木 治

(TEL03-3286-3050)

**当社連結子会社（FCM株式会社）の業績予想の修正
および配当予想の修正に関するお知らせ**

当社の連結子会社である FCM 株式会社について、平成 24 年 10 月 23 日に公表した業績予想および配当予想の修正について、別添資料にてお知らせいたします。

なお、本件による当社の連結業績への影響は軽微であります。

[添付]

FCM 株式会社の開示資料

以 上

各 位

上場会社名 FCM株式会社
 代表者 代表取締役社長 市居 律雄
 (コード番号 5758)
 問合せ先責任者 専務取締役 川森 晋治
 (TEL 06-6975-1324)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年10月23日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,300	120	160	70	41.08
今回修正予想(B)	15,980	△54	△14	△281	△164.91
増減額(B-A)	△320	△174	△174	△351	
増減率(%)	△2.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	18,042	168	206	113	66.32

修正の理由

欧州の債務危機やアジア諸国の成長鈍化などにより、世界経済の景気回復へのハードルは依然として高いままです。我が国においても、政権交代後に円高傾向が緩和される様相を見せてはいるものの、景気の先行きは不透明な状況です。

当社においても、主力とする電子機能材事業においてパワーエレクトロニクス関連部品の在庫調整や一部スマートフォンでの生産調整が始まるなど、予想に比して大幅な減益となっております。さらに大阪鍍金工業厚生年金基金の解散に伴う損失や事業用地の用途変更による減損などにより、当第3四半期累計期間に261百万円の特別損失を計上することとなりました。引き続き第4四半期においてもユーザー及びマーケット環境の好転は見込めず、厳しいものになることが予想されるため、業績予想の修正をすることとします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年10月23日発表)	—	10.00	—	2.00	12.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	10.00
当期実績	—	10.00	—		
前期実績 (平成24年3月期)	—	10.00	—	10.00	20.00

修正の理由

当社の利益配分については、配当性向の目標を30%とし業績に連動した配当金をお支払いすることを基本方針としています。業績予想の修正にありますように当事業年度の当期純利益が△281百万円となる見込みですので、期末の配当は見送りさせていただきます。なお、株主優待制度についてはこれまでどおりとし、変更はありません。

以 上